

船舶工学特別コース 修士の学位取得までの履修モデル

学士からの進学者、留学生、社会人等
 <入学者受入方針>

1. 造船工学を学ぶために必要な基礎学力(とくに数学、物理)および専門知識をもっている。
2. 技術者・研究者としての教養・倫理観を高め、人類の幸福や地域社会に貢献しようとする意欲をもっている。
3. 集団の中でリーダーシップを発揮することができるとともに、未知の課題や困難な問題に対して積極的に取り組む意欲をもっている。



修了要件

1. 造船関連企業勤務の技術者および船舶工学・造船工学関連学科の大学および高専専攻科の卒業者:
 必修科目 4単位、選択科目 26単位以上、合計 30単位以上を修得し、学位論文の審査および最終試験に合格すること。
 必修科目は船舶工学ゼミナールの4単位。
2. 船舶工学・造船工学関連学科以外の大学及び高専専攻科の卒業者:
 必修科目 20単位、選択科目10単位以上、合計 30単位以上修得し、学位論文の審査および最終試験に合格すること。
 必修科目は下に*でマークした科目。
 インターンシップⅠ～Ⅲは1年次と2年次の夏季休暇中に分けて実施し、10日程度の実務実習を1単位と認定する。

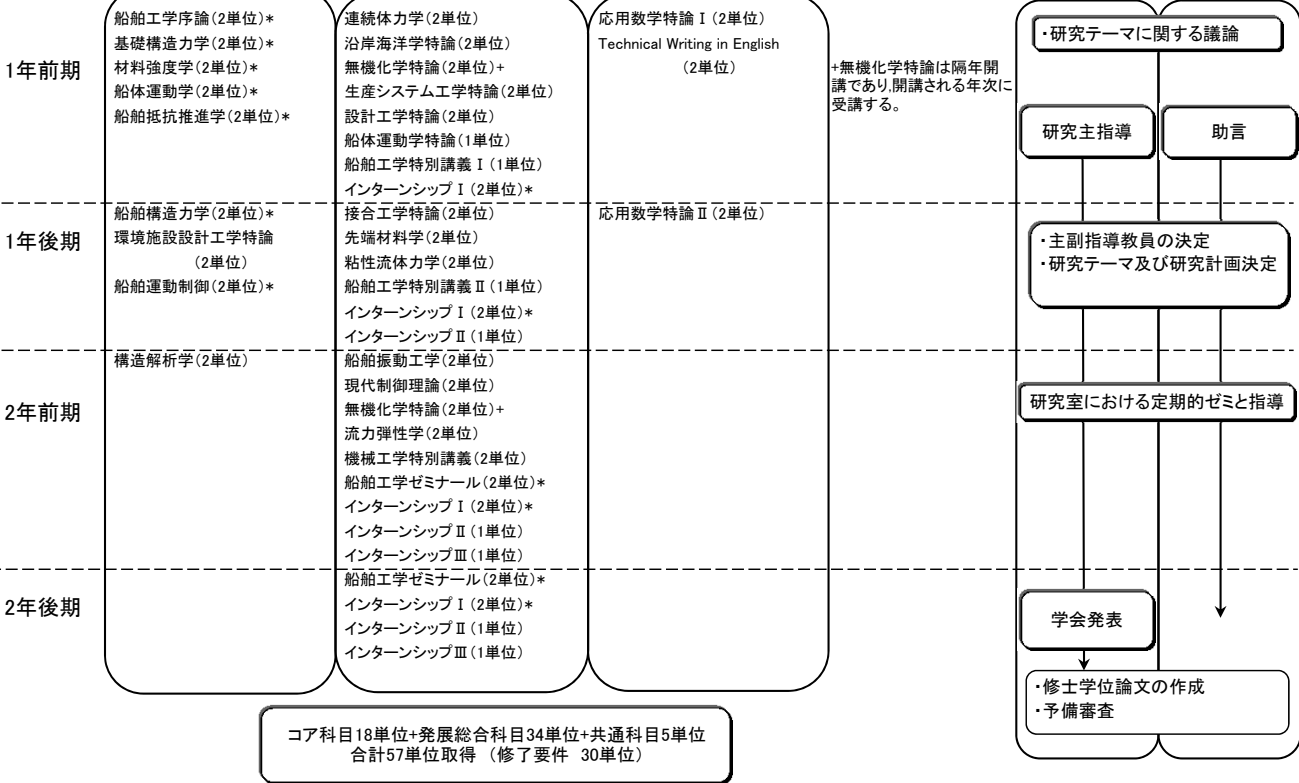
船舶工学コア科目
 (高度な専門知識体系の修得)

発展・総合科目
 (身に付けておくべき基礎技能・知識の修得)

共通科目
 (基礎知識)

研究指導
 (主・副指導教員による指導体制)

入学



学位授与の方針

下記の資質を満たしていると認められたものに修士の学位を授与する。

1. (自立性)造船工学分野における高度な専門知識を持った技術者、研究者として、当該分野の諸問題に対し自律的に対処することができる。
2. (実践力)高度な専門知識と技能を活用することによって、造船海事に拘わる幅広い課題に対処することを通して、社会に貢献することができる。
3. (倫理性)社会と自然に及ぼす効果を理解しながら、造船海事技術の発展について考え、倫理観を持って業務に当たることができる。



修士の学位取得

学位取得後の進路

- ・造船関連企業などへの就職
- ・大学院博士後期課程への進学

